



HAL®腰タイゾ
導入ユーザー全国研修大会
第3回好事例大賞 入賞作品集



2020年3月13日 初版 第1刷 発行
2020年4月 3日 第2版第1刷 発行

発行者：CYBERDYNE株式会社
茨城県つくば市学園南二丁目2番地1
<https://www.cyberdyne.jp>
<https://www.hal-care-support.jp>

編集：HAL®腰タイゾ導入ユーザー全国研修大会事務局

大腿骨転子部骨折術後患者 HAL®腰タイ。

自立支援使用効果について

・術後早期からの試み

社会福祉法人石川福祉会HITTO病院 介護ケアチーム
 介護ケアチーム長 高橋 有希恵子 (N) 高橋 有希恵子 (N)
 介護ケアチーム副長 新井 裕子 (N) 新井 裕子 (N)

大腿骨転子部骨折術後早期の問題点

- ・急性疼痛
- ・筋力低下
- ・可動域制限
- ・不安・恐怖心

術後2~3週経過した大腿骨転子部骨折術後患者の立ち上がりにおいて、大腿四頭筋とハムストリングスの活動量が低く、同向にある。

「**同時収縮が生じることで股関節運動機能が阻害されている?**」

対象方法

対象者 大腿骨転子部骨折術後患者 8名

方法 大腿骨転子部骨折術後患者8名を対象に、術後5日～7日までにHAL®腰タイを装着し、5分間歩行を繰り返すことで、術後19日目までに自立歩行を達成した。

①5回立ち上がりテスト ②Time Up and Go test (TUG) を比較

HAL®腰タイ自立支援用の特徴とその効果

・足の届かない部分の支持、下の運動を促すことで股関節の可動域を広げ、自立歩行の準備を整える。

・本人の運動意欲を高める自立歩行の準備を整える。

・自立歩行の準備を整える。

・自立歩行の準備を整える。

・自立歩行の準備を整える。

目的

術後早期からのHAL®腰タイ使用は、

・立ち上がり動作に必要な股関節機能の再生・改善を可能にするか

・身体機能回復に貢献するか

結果

術後早期からのHAL®腰タイ使用は、

・立ち上がり動作に必要な股関節機能の再生・改善を可能にするか

・身体機能回復に貢献するか

代表症例提示：96歳 女性 左大腿骨転子部骨折 立ち上がり動作

術後5日目 術後8日目 術後11日目 術後14日目 術後17日目 術後20日目

努力的な立ち上がりが軽減！

支障なく立ち上がり動作が可能に

考察（継続までの相）

HAL®腰タイ使用後

術後5日目 術後8日目 術後11日目 術後14日目 術後17日目 術後20日目

術後5日目 術後8日目 術後11日目 術後14日目 術後17日目 術後20日目

腰HALは、歩行に必要な抗重力筋を賦活させる

即時効果

対症効果

歩行能力向上

身体機能回復に貢献できる

歩行動作

術後5日目 術後8日目 術後11日目 術後14日目 術後17日目 術後20日目

1.80mの歩行距離を1.5m→2.0mに拡大

歩行補助具なしで歩行可能な状態まで歩行能力が改善！

考察（継続以降の相）

左右対称で立ち上がり動作において、左右不均等な動作に慣れ、代償動作が生じやすい

HAL®腰タイ使用後

術後5日目 術後8日目 術後11日目 術後14日目 術後17日目 術後20日目

まとめ

大腿骨転子部骨折術後患者の立ち上がり動作は、股関節運動機能の低下から、同時収縮を促している可能性がある。

運動のリハビリテーションに加え、HAL®腰タイを術後5日目より歩行自立にまで使用。

HAL®腰タイは、股関節運動機能を改善させるには有効。

術後5日目から歩行自立に至るまで実施。